



モルディビアン スターズの 全サファリスペシャルトリップ

photo&text : Yasauki Kagii
Special thanks : ST world_Maldivian Stars
design : Tomato



モルディブの海は、様々な表情を持つ。
雑誌などメディアで紹介される「楽園」としての癒しの海。
浅瀬を泳ぐリーフフィッシュと豊かなサンゴ礁を包み込む青い海が広がる。
そして、写真では表現され難い潮流の海でもある。
潮の流れのある海域にエントリーして、大物や魚群との出会いを試みる。
また、魚類最大のジンベエザメや大きなマンタとのスペクタクルな遭遇。
そして、その潮流の先に広がる色鮮やかなソフトコーラルの森と
個性溢れるインド洋の固有種たち。
そんな極上のモルディブの海を案内してくれる「モルディビアンスターズ」。
今回の特集は南北マーレ・アリ環礁の「通常ルート」と「北上ツアー」を中心に
「バア環礁ツアー」、「フェリドゥ・ミーム環礁ツアー」・「大物狙いツアー」の
すべてのサファリスペシャルトリップを紹介する。

01/賑やかな雰囲気の一船上のゲスト&ガイド 02/新しいサファリ・エクスペリエンス

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Web-lue 2009.Spring



Information Link http://www.divenavi.com/maldives_cruise/cruise/maldivian.html

南北マーレ・アリ環礁を巡る
「通常ルート」

モルディビアン
スターズの
全サファリ
スペシャルトリップ

まるで魚たちに導かれるように海中世界に入っていく

Maldives
モルディビアン・スターズ
Web-lue 2009.Spring



Information Link [click! 関連情報HPへ](http://www.divenavi.com/maldives_cruise/cruise/maldivian.html)
http://www.divenavi.com/maldives_cruise/cruise/maldivian.html



シャンデリアのようなムレハタテダイの群れ、水面下から別世界が広がっている

Male Atoll Ari Atoll

南北マーレ・アリ環礁を巡る 「通常ルート」

チェックダイブを兼ねて最初に潜り込んだ北マーレ環礁の「マーミギリロック」はモルディブの海にやって来た幸せをすぐに実感させてくれた。まずは、真っ白な砂地の傾斜に向かって潜行する。水深約15mの大きな根の上に、まるで雲のように湧き立つ大きなヨスジフエダイの群れが見られた。その群れはひとつの生命体のようにかたまり、グルグルと回りながら浮かんでいる。地上では見ることで

ない景色との出会いは、慌しい日常生活から、簡単に気持ちを旅モードにスイッチさせてくれた。周囲ではナボレオンがウロウロし、根には無数のキンギョハナダイが群れているのが、モルディブの海の魅力である。ファーストダイブからすっかりとモルディブの海に魅せられてしまった。そして、南北マーレ・アリ環礁を巡る5daysが始まった。

モルディビアン
スターズの
全サファリ
スペシャルトリップ

Maldives
モルディビアン・スターズ
Web-lue 2009.Spring



Information Link [click! 関連情報HPへ](http://www.divenavi.com/maldives_cruise/cruise/maldivian.html)
http://www.divenavi.com/maldives_cruise/cruise/maldivian.html



モルディブの魅力のひとつは、潮流に乗って楽しむドリフトダイビング。潮当たりの良い外洋に面したコーナーやティラ（隠れ根）でのダイビングは、大物や魚群を楽しむことができる。ガイドに導かれ、コーナーの先端で待っていると、メジロザメやホワイチップシャーク、ナポレオン、マダラトビエイなどが向こうから接近してくる。彼らはこちらを少し気にしながら、私たちの目の前を悠然と泳いでいく。潮流の中で自由に泳ぎ回る彼らと、潮流に翻弄されて不自由

な私たちダイバーの関係は、動物園や水族館とは逆の立場なのかもしれない。潮流が早くなれば海はより活性する。大きな魚群が一方向に泳いでいき華やかな花道の演出がある。青い海を舞台にした壮大な天然劇場が幕を開ける。

南北マーレ・アリ環礁を巡る「通常ルート」

華やかな花道ができる潮流ダイブ!

Male Atoll
Ari Atoll

01/ アジの仲間を誘導するメジロザメ

02/ ナポレオンが大口を開けて自己アピールしてきた

03/ まるで流星のように海中で煌くイエローバックフジウラーの群れ

モルディビアン
スターズの
全サファリ
スペシャルトリップ



02 03



Maldives
モルディビアン・スターズ
Web-lue 2009.Spring



モルディビアン
スターズの
全サファリ
スペシャルトリップ



Male Atoll Ari Atoll

南北マーレ・アリ環礁を巡る「通常ルート」

ジンベイザメ&マンタとの スペクタクルな遭遇

アリ環礁に南部に到着すると、期待感と緊張感がぐっと高まる。それは、ジンベイザメがこの海域を回遊しているためだ。ガイドとクルーが船上から目視観察で水面に映るジンベイザメの影を探す。共に探すゲストも多い。「インド洋の首飾り」と呼ばれる環礁の美しいリーフ沿いをゆっくりとサファリボートは進んでいく。

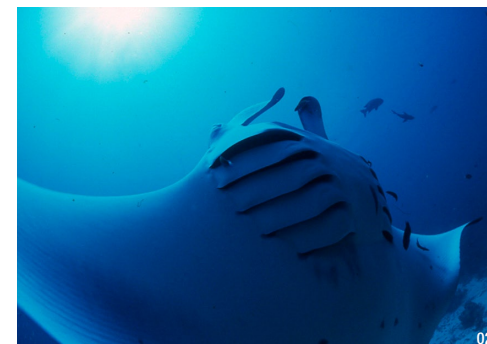
ジンベイザメとの出会いはいつでも突然だ。誰かが、「ジンベイ! ジンベイ!」と

叫ぶと、船上は活気立つ。急いでマスクとフィンをつける。そしてスノーケリングで海の中へ。海中がいくら異空間だと認識していても、見慣れないサイズの生き物が目の前を泳いでいるとさすがに驚く。ゲストは興奮状態のまま撮影したり、素潜りを繰り返したりと反応は様々。ジンベイザメも個体によって性格が違うようで、長く一緒に泳いでくれるものもいれば、すぐに泳ぎ去るものもある。しかし、経験から言えば、ジンベイザメは遭遇しただけでかなりのインパクトがある。例えそれが、数秒の出会いであったとしても、まるで

01/ 人気No.1の魚、ジンベイザメの登場!

02/ マンタとの遭遇もダイバーの憧れ

03/ キ海中でも賑やかなゲストの皆さん



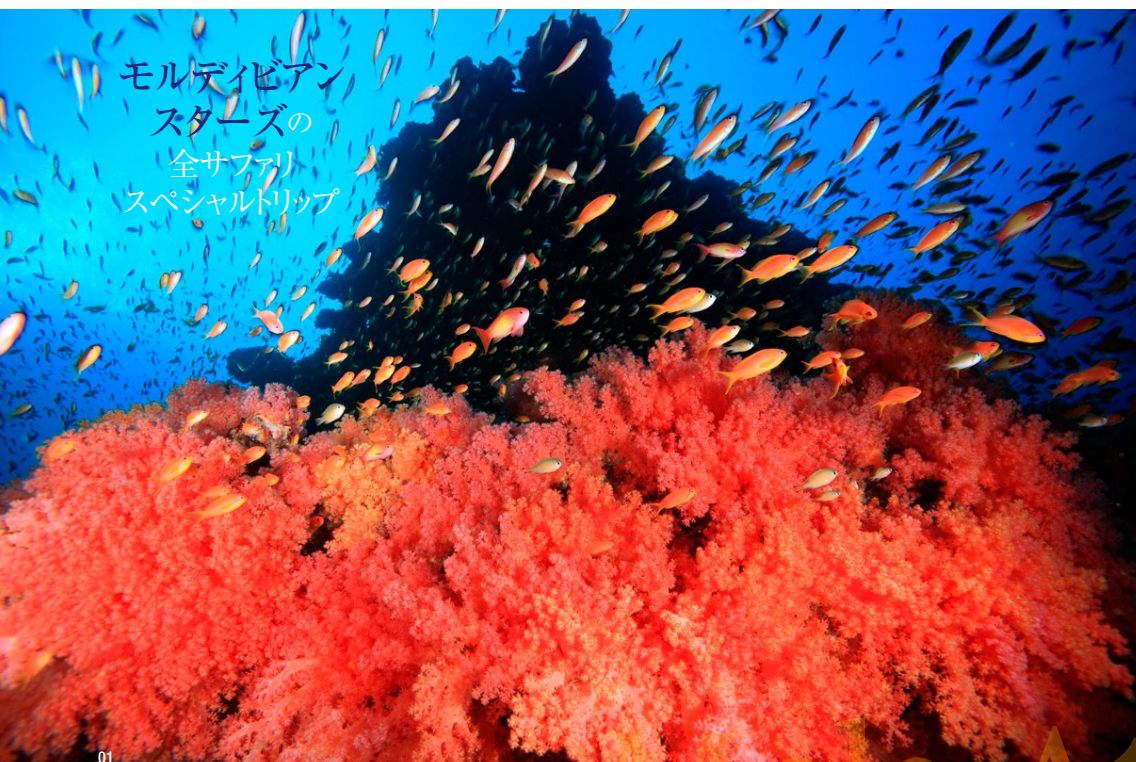
夢で出会ったような、ほのかな恋心が残る。

また、各環礁には、マンタがやってくるクリーニングステーションがあり、高確率で出会える可能性がある。クリーニングステーションにやってくるマンタは、ホンソメワケベラの掃除に夢中になり、ダイバーのことを気にしなくなる。ルールを守って観察していると、胸ビレに手が届く距離まで接近してくれる。また何枚ものマンタが出現することも多く、海の中はマンタの群れとダイバーでお祭り騒ぎになる。

Maldives
モルディビアン・スターズ
Web-lue 2009.Spring



モルディビアン
スターズの
全サファリ
スペシャルトリップ



Male Atoll Ari Atoll

南北マーレ・アリ環礁を巡る「通常ルート」

モルディビアンスターズがこだわる
モルディブの万華鏡のような海中世界



- 01/ 花吹雪のように美しいキンギョハナダイの群れとソフトコーラル
02/ 魚種が濃いモルディブの海では、子供たちが描く海の景色が見つかる
03/ 愛嬌者のクマノミ
04/ モルディブの少し深いオーバーハングでは色が氾濫する



モルディビアンスターズはカメラやビデオを持ったゲストが多い。そのために潮の流れ早いポイントばかりを選択するのではなく、穏やかなビジュアル系のポイントにもエントリーする。カオリータは「ジンベイザメやマンタはもちろんだけど、サンゴやソフトコーラルなどモルディブの海の豊かで華やかな水中景観もみんなに知ってもらいた」と語ってくれた。そのビジュアル系で印象的だったのは、南マーレ環礁の「ナギリティラ」。潮辺りの良い場所ではオレンジ色のソフトコーラルが群棲し、無尽のキンギョハナダイが青い海

に飛び出していた。そしてアリ環礁の「ディガティラ」は海の生命、躍動、躍動、華やかさを感じた。また、「マロスティラ」は、他のエリアではあまりお見かけしない水色のソフトコーラルが群棲する。それがなんと上品で、海の中の景色というよりは、冬の雪景色を連想させてくれた。

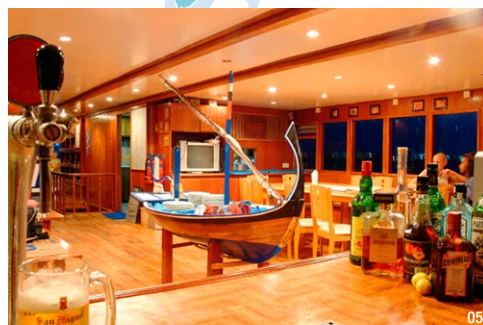
モルディビアンスターズは大部ばかりにとらわれることなく、モルディブの海が持つ多様性に注目し、華やかな水中景観からマクロの生き物まで私たちにモルディブの素顔を披露してくれる。

Maldives
モルディビアン・スターズ
Web-lue 2009.Spring



Information Link http://www.divenavi.com/maldives_cruise/cruise/maldivian.html

シャミーが語る 通常ルートの魅力



01/快適空間のエクエーター号 02/半屋外のデッキ 03/客室も清潔で広い
04/ジャグジーも完備されている 05/ドーナツのテーブルがあるレストラン



EQUATOR 号 (イクエーター号)

モルディブアンスタースが乗船するダイブサファリ船。全室温水シャワー、トイレ、冷房、クローゼットを完備。レストラン・バーやジャグジーのあるサンデッキなど施設内も充実。食事はビュッフェ方式で、味も評判。タオルはダイビング用、客室用に2枚(2日に1回取り替えてくれる)。また、減圧症予防のために、ミネラルウォーターが毎日1本(2リットル)、無料サービスされる。

通常ルートは南北マール・アリ環礁を5日間かけて巡ります。一般的に、モルディブで見られる生き物と出会う最もポピュラーなルートです。人気のマンタやジンベイザメ、ハンマーヘッドシャーク、ナポレオン、イソマグロ、魚群などはポイントがある程度開拓されているためにとても狙いやすく、ゲストダイバーが高確率で見ることができます。

ゲストのリクエストがあれば、できる限りそれに沿いますが、私たちはジンベイザメばかりに拘りません。ジンベイザメもちゃんと狙いますが、そればかりに捕らわれて、他の良いポイントにエントリーできなくなることは避けたいと思っています。

例えば、私の一番好きなポイントは南マール環礁のナギリティラです。メジロザメ、マダラトビエイ、ギンガメアジの群れが見られるとてもエキサイティングなポイントです。また、オレンジ色のソフトコーラルも綺麗で、キンギョハナダ

イの数も半端ではないです。そして、同じ南マール環礁のロスフシチャネルはマクロの生き物がたくさんいます。アケボノハゼ、ハダカハオコゼ、ハナヒゲウツボなど。たまにインディアンバタフライフィッシュも見られます。

また、北マール環礁のナシモティラも素晴らしいポイントです。青いソフトコーラルの壁がとても綺麗で、ロウニンアジやクマザサハナムロの群れなど魚がいっぱいです。それに、南アリ環礁のクダラティラです。流れが早いときはあまり潜れないけど、とにかく魚影が濃い。少し深く小さな根には、ヨスジフエダイが群れ、中層では、イエローバックフィジューラの群れを襲うロウニン、カスミ、イソマグロが泳いでいます。

モルディブの魅力は1トリップですべて見てもらうことはできません。通常ルートは何回来ても、エントリーしてないポイントがたくさんあります。是非何度でも来て下さい！



シャミー アリ
Shamee Ali

シャミーは、若くて勢いがあり、上級者を担当することも多いモルディブアンガイド。潮のあるところでも、ちゃんとゲストをコントロールできる。そして、見るものはしっかりゲストに披露する。他のスタッフが老眼になりつつあるから…今、マクロが一番強いガイドでもある(笑)

Maldives
モルディブアン・スタース
Web-lue 2009.Spring



Information Link http://www.divenavi.com/maldives_cruise/cruise/maldivian.html



We are モルディビアンスターズ!



01/リピーターにも絶大な人気を誇るモルディビアンスターズ 02/個性の異なるガイド陣が、モルディブの海を紹介してくれる 03/夜はテンタティナーに変身するガイド陣 04/マジシャンになったシャーミー 05/耳を保護するマスクがブチ流行 06/賑やかなピリタに愛されるモルディビアンスターズ

日本語が話せるガイド3名体制（日本人2名、モルディビアン1名）の「モルディビアンスターズ」。

彼らの魅力は、ゲストの対話を大切にしながらポイントを選択していくこと。リクエストをできるだけ叶えつつ、その時、最も旬なポイントに連れて行ってくれる。ゲストの年齢層は様々。また、カメラやビデオを持つゲストも多いので、流れの早いポイントばかりでなく、癒し系&ビジュアル系のポイントを織り交ぜて1日のスケジュールを構成する。

そして、ガイドが3名なので少人数のチームを編成できる。例えば、フィッシュウォッチング派とカメラ派を分ける。またカメラ派でもマクロの生物好きチーム編成も可能。ガイド陣はインド洋の固有種、人気種もぎっしりとゲストにお見せできる技量を備えている。

Maldives
モルディビアン・スターズ
Web-lue 2009.Spring



Information Link <http://www.maldivian-pinkstar.com.mv/>

モルディビアン・スターズが贈る冒険 北上ツアーの全貌

モルディビアン
スターズの
全サファリ
スペシャルトリップ

誰もいない手付かずの北の環礁に、いざエントリー!

Maldives
モルディビアン・スターズ
Web-lue 2009.Spring



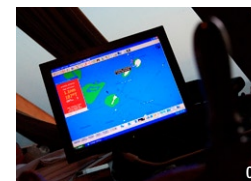
モルディビアン
スターズの
全サファリ
スペシャルトリップ



01



02



03



04

モルディビアンスターズが贈る冒険・北上ツアー

まずは玄関口、 ラヴィヤニ環礁 & ヌーヌ環礁!

トリップがスタートしてから、北マーレ環礁、Kaashidoo Is
で潜り、さらに北上してラヴィヤニ環礁、ヌーヌ環礁まで
やってきた。まずは、ラヴィヤニ環礁の「Kuredu Express」
にエントリーする。ギンガメアジの群れ、タイマイにご対面
し、他の環礁ではお見かけしないblue-saddle tilefishなど
撮影した。大きなオーバーハングを駆け上がると、まるで雲
のような魚塊が天上に揺らめいていた。モルディブらしいコ
ラーレバタフライフィッシュとムスジコショウダイの群れを接
近撮。インド洋なのに、少し和的な色彩を感じられる。そし
て、ヒメフエダイの大きな爆弾雲に接近すると、いとも簡
単に爆発、海中で躍動した。



05



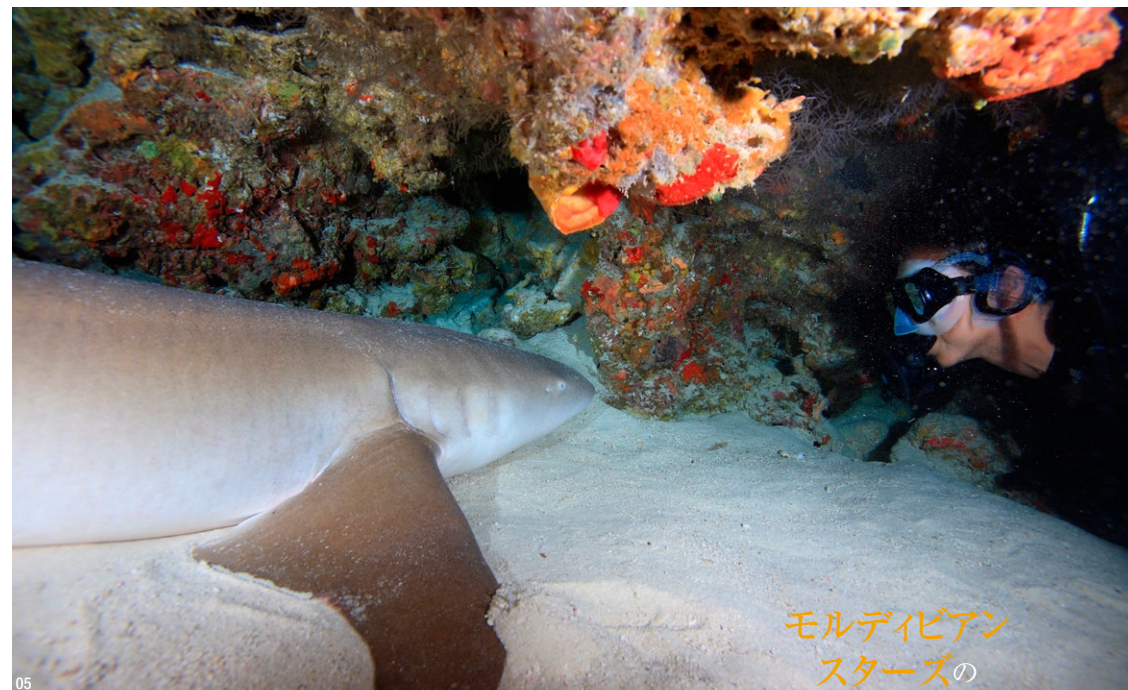
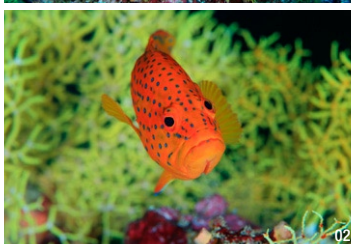
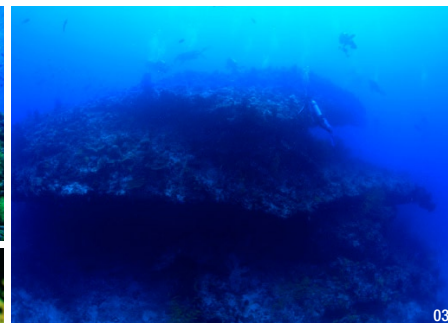
06

01/ダイバーに気が付かれることなく、しばらくはのんびりしていたタイマイ 02/少
和的なコンビネーションのムスジコショウダイとコラーレバタフライフィッシュ 03/
GPSでルートを見る 04/大きな爆弾のようなヒメフエダイの群れ 05/北上する毎
に海の色が鮮やかになっていく 06/初対面のBlue-saddle tilefish

Maldives
モルディビアン・スターズ
Web-lue 2009.Spring



01/ 黄色いサンゴが群棲する壁
02/ カラフルなバックでポーズを決めるユカタハタ 03/ 巨大な海中クリスマスツリー 04/ マダラエイのレギュラーメンバー
05/ オオテンジクザメと説めっこ
06/ 華やかな海中風景に誘われる



モルディビアン
スターズの
全サファリ
スペシャルトリップ

モルディビアンスターズが贈る冒険・北上ツアー

Noonu Atoll まずは玄関口、 ラヴィヤニ環礁&ヌーヌ環礁!

そして、ヌーヌ環礁へ渡り、「Raafushi Faru」にエントリーした。まずは40mを超える透明度に驚く。垂直に落ち込むドロップは黄色い小さなサンゴに覆われている。鮮やかな青と黄色の世界。モルディブで見たことのない景色を眺めながら、潮の流れに身を任す。オレンジ色のキンギョハナダイも負けじと鮮やかに舞う。2色が主張し合う混沌とした世界。所々にあるオーバーハングでは、マダラエイ、オオテンジクザメなどとの出会いもあった。

エキジット後、カオリータが、「ほんま、モルディブ惚れ直したわ〜」と言っていた。そして、その日の夕食の席では、

「ほんまに美しくて、涙が出そうになったわ〜」と大声で騒いでいた。話がどんどん大きくなる… (笑)

次は「Christmas rock」へ。水深25mの海底に大きな根があり、その姿がクリスマスツリーに似ている。根の表面には、緑のナンヨウキサンゴが群棲し、そこに無尽のキンギョハナダイが舞っている。大きなツリーに飾られた小さなキャンドルのようにとても華やかだ。また、このツリーは、たくさんの生き物たちの拠り所になっていた。ダイビングの途中になるとマンタもこのツリーにやって来た。



Maldives
モルディビアン・スターズ
Web-lue 2009.Spring



Information Link http://www.divenavi.com/maldives_cruise/cruise/maldivian.html



モルディビアン
スターズの
全サファリ
スペシャルトリップ

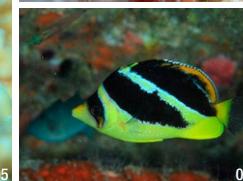
モルディビアンスターズが贈る冒険・北上ツアー

シャビヤニ環礁&ハーダール環礁の主役たち

シャビヤニ環礁の「Oholhiyadhoo H.R」で行き成り、5頭のバンドウイルカとの遭遇。エントリーしてすぐにこちらにやって来た。浮上しながら、何度かこちらに戻ってきては、数分の出会いを楽しませてくれた。

更に北上したハーダール環礁の「Kumundhoo Thila」では、多くの魚群に囲まれた。海底には、ヨスジフエダイ、ムスジコショウダイ、コラーレバタフライフィッシュなどが群れ、中層ではイエローバックフィギュラーの群れが泳ぐ。賑やかな2重奏を楽しんだ。ダイビングの後半は、テングハギの群れにゲスト全員が囲まれた。黒褐色の地味な魚だが、迫力は抜群。いつも派手な魚ばかり見ていたので、ちょっとした箸休めとなり、ナチュラルテイストの魚群を堪能した。

そして、「Hirimaradhoo H.R」では豊かなサンゴ礁とそこに生息するリーフフィッシュを楽しんだ。トップリーフのサンゴの隙間では、レモンコーラルゴビーやカスリフササゴを見つけることができた。全てのチームが予定の45分間のダイブタイムを超えて笑顔でエキジットしてきた。そして、「Naivaadhoo Beyru」はまるで大きな教会のようなポイントだった。垂直のドロップオフに大きなオーバーハング。その壁には珍しいインディアンバタフライフィッシュが何ペアも生息している。ライトを当てると、ホヤやカイメンなどの鮮やかな色彩が浮かび上がる。壁一面はまるでステンドグラスのように煌びやかで印象的だった。

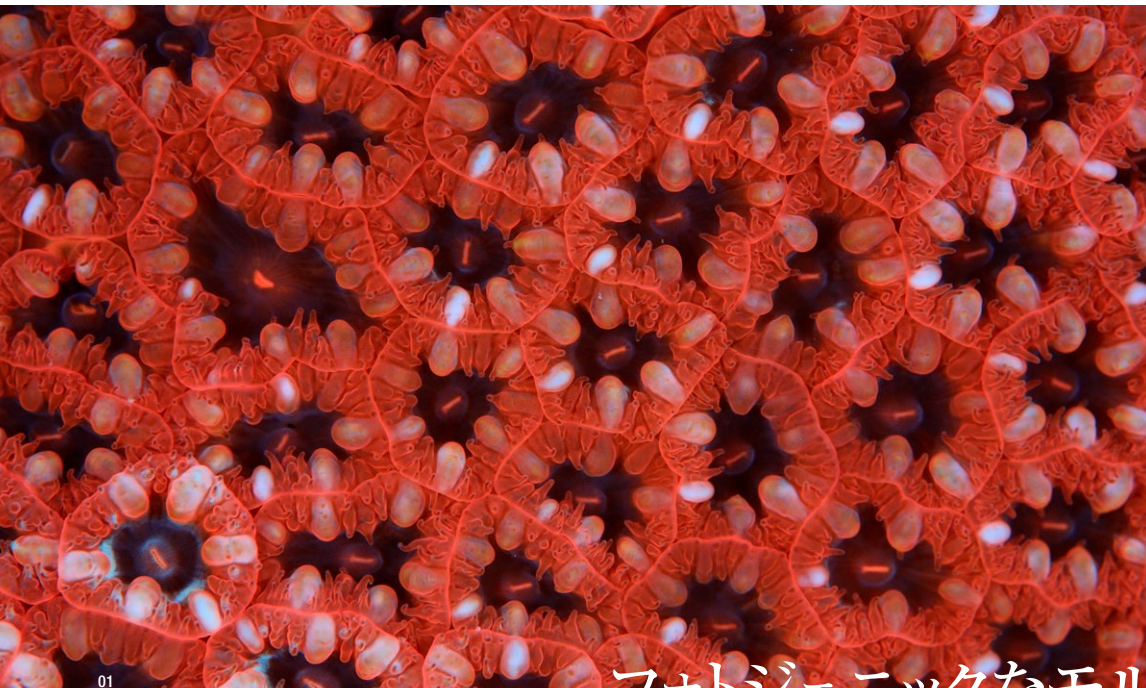


01/中層と底生魚の二重コラボ 02/安全停止中に記念撮影 03/思いがけない嬉しい出会い。バンドウイルカのお通りだい! 04/モルディブのサンゴは美しい
05/結構大胆なレモンコーラルゴビー 06/モルディブでは御馴染みの Chromodoris gleniei 07/インディアンバタフライフィッシュ 08/集団でいたウミウシの仲間

Maldives
モルディビアン・スターズ
Web-lue 2009.Spring



Information Link http://www.divenavi.com/maldives_cruise/cruise/maldivian.html 関連情報HPへ



01
02



モルディビアン
スターズの
全サファリ
スペシャルトリップ

03
04

フォトジェニックなモルディブの素敵な面々



01/ 未踏の海で、未知なるデザインに出会った

02/ かっこよくポーズを決めるタイマイ



03/ やっぱかわいいクマノミの正面顔

04/ 洗濯機の中のように、グルグルと目まぐるしく回るイエローバックフィギュラーの群れ

Maldives
モルディビアン・スターズ
Web-lue 2009.Spring





モルディビアン
スターズの
全サファリ
スペシャルトリップ

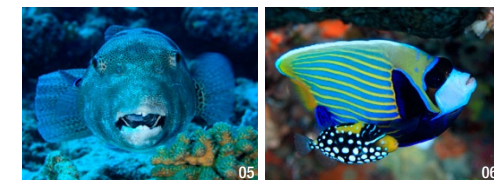
Haa Alifushi Atoll

モルディビアンスターズが贈る冒険・北上ツアー ハーアリフ環礁で原始の モルディブの海に遡る

ハーアリフ環礁の「Maarandhoo Faru」にエントリーした。まず、驚いたのは透明度の高さだった。ゆっくりリーフに潜降していくと豊かなサンゴ礁が花咲いている。モルディブに訪れるすべてのダイバーが憧れるダイビングの始まりに倣う。南北、アリ環礁で増えてしまったアカモンガラ姿も少ない。海中に無数の黒点が目立たないためか、随分海も軽やかに見える。オーバーハングの下を潜ると青や黄色のソフトコーラルの群棲を見つけた。ブルーウォーターを見れば、オオメカマスの群れが泳いでいく。「Mulidhoo Beyru」では、キングヨハナダイとヨスジフエダイの群れに囲まれた。北上していく度に、海中世界は原始のモルディブの海に遡っていく感じる。4つの環礁のひとつひとつが例



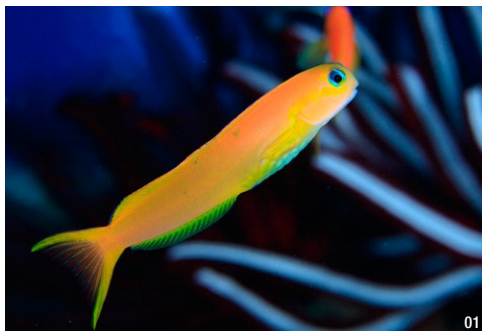
01/ 海中で豊かなソフトコーラルの森に出会う 02/ 岩の隙でも小さな命がたくさん煌いていた 03/ パラクーダの大群にも遭遇 04/ 海底を埋め尽くすヨスジフエダイの群れ 05/ 呑気なケショウウグと睨めっこ 06/ 2大アイドルの競演を見る



Maldives
モルディビアン・スターズ
Web-lue 2009.Spring

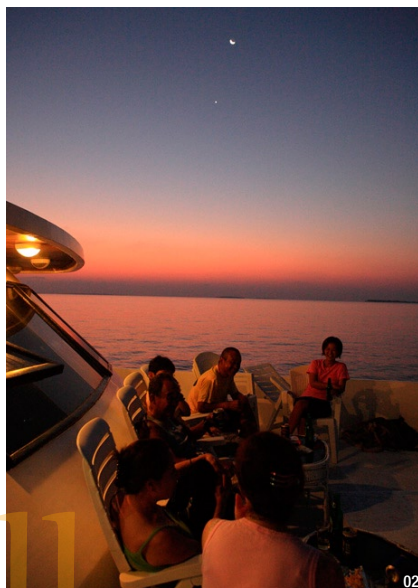


Information Link http://www.divenavi.com/maldives_cruise/cruise/maldivian.html click! 関連情報HPへ



01

01/ひょうきんな泳ぎ方のハナダイギンボ 02/海の沈む夕陽を眺めながらみんなでビールを飲む楽しい時間 03/特別なポイントでもないのに、マダトビエイの編隊が現れた 04/マクロの生き物もガイド陣はしっかりと見せてくれる 05/ちょっと醜いChromodoris gleniei 06/ツバメウオの群れを接近写 07/シンデレラを気取る？ブチウミウシ



02

モルディビアン・スターズの ラア環礁とバア環礁

ラア環礁の「Vaadhoo Kandulhi Thila」で砂地を横切って根を横断していく。まるで海底山脈のような景色。ツバメウオに迎えられ、エキジットする。「Agothitheemu Kandu」は透明度が高く、潮流に乗って壮大なドロップオフの景色なか海中を飛んだ。撮影することも忘れて、潮の流れに身を任した。大きなエイやハナヒゲウツボなどの出会いもあった。「Kudakurathu Faru」では、エントリー直後に会った大きな根でほとんどの時間を過ごした。フレームバスレットと一緒に泳ぐキンギョハナダイ。まるでスカートの裾をなびかせて進むウミウシなどがとても可愛かった。ラア環礁では、大きな海の景観の中で、カラフルで小さな魚たちの出会いが印象的だった。そして、更に南下したバア環礁に到着。ガイド陣一押し「Kihavahuruvalhi Faru」に潜りこむ。壁一面に黄色いソフトコーラルが咲いている。残念な

がら、ポリプが満開ではなかったが、圧倒的色彩が五感をくすぶった。そして、「Anga Faru Thila」「Nelivaru Thila」を潜り、マダトビエイの群れ、フリンデエイ、フルムーンゴビーなど披露してもらった。全てのダイビングを終えた後、北の環礁を潜り尽くした達成感と充実感に満たされた。そして、また新たな環礁への夢も広がった。



05



06



07



モルディビアン
スターズの
全サファリ
スペシャルトリップ

03

04



Maldives
モルディビアン・スターズ
Web-lue 2009.Spring



Information Link http://www.divenavi.com/maldives_cruise/cruise/maldivian.html click! 関連情報HPへ



01



02



03

北上ツアーの上陸観察

モルディブアンスタースの新しい試みとして、他の環礁を開拓しました。他のサファリボートはスペシャルトリップとして南下ルートをよく行っていますので、私たちは敢えて北上を選びました。今年（2009年）でまだ2回目なので、実績は少ないですが、これからどんどん開拓しデータ、経験、知識などを蓄積していくつもりです。

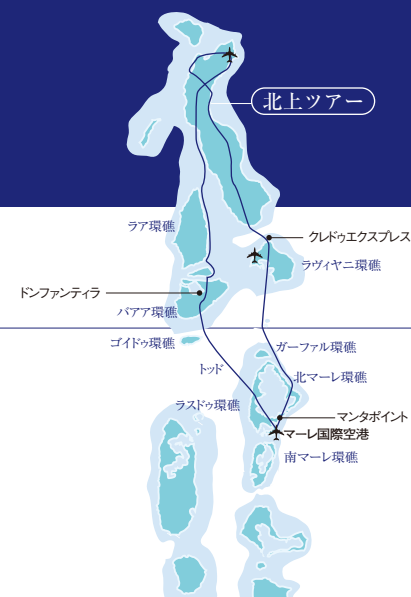
サファリは北上することで、南北マレ環礁はまた違った海中風景を楽しめます。いつもとは違う色のソフトコーラルやインパナなどの群棲。またハードコーラルも豊かですので、通常ルートでは見られないレモンコーラルゴビー、セダカギンボ、カスリフササカゴや稀種として、Blue-saddle Tilefish、Indian Butterflyfishなどが見られます。

スタッフにとってもアドベンチャーダイブの連続で、未開の海でガイドとして生き物を探る楽しみが倍増しています。スタッフ自身が心から楽しんでいるので、それが良い意味でゲストにも感染していると思います（笑）。

北上ツアーでは、いくつかの島に訪れる。Kaashidoo Is（カーシドゥ島）では、1153年、モルディブがイスラム教に改宗される前の仏教遺跡や、珍しいカメが見られる。ハーアリフ環礁のUteemu Is（ウティーム島）では、ボルトガルの支配から主権を取り戻した英雄モハメッド・ボドゥタクルファヌの家を見学できる。これはモルディブ最古の木造建築である。

初年度は、簡単な情報だけを頼りにスノーケルでボートに引き釣りながらポイントを見つけました。トップリフトとボトムとの差がないポイントでは、「本当にここで良いのか？」とドキドキしながら潜りました。それでもいきなり、クリーニングされているマンタやヤマアラシエイ、マングローブエイ、マダラエイ、イルカに出会えました。期待していないところで何かの良い出会いがあるので、嬉しさは倍増です。北の環礁についてサファリ歴の長い先輩ガイドにアドバイスを受けても、ハードなポイントばかり挙げられます。それでは、私たちのスタイルに当てはまりません。カメラ派やマクロに興味のあるゲストも大切にしたい私たちは、独自のスタイルにあったポイントを提供できるようにこれからも開拓を続けていくつもりです。北の環礁はサファリボートがほとんどないので、他のゲストダイバーに会うことがありません。貸切感満載のお得なトリップです。

カオリータが語る 北上ツアーの魅力



04



カオリータ 前井 登

チーフガイドのカオリータは、潮流を読み取り時にポイントの選択、変更を行う順応性の高いガイド。ジンベエザメ以外に好奇心が旺盛で、巷では「カオリータがジンベエザメに関わると、遭遇率が低くなる……」と言われている（笑）



05

01/ 英雄モハメッドの家 02/ 同敷地内の集会所を訪れる 03/ 森の中にひっそりと佇む仏教遺跡 04/ 陸ガメを片手にご満悦のカオリータ 05/ 島の現地人たちとの交流も旅の一興

Maldives
モルディブアンスタース
Web-lue 2009.Spring



Information Link http://www.divenavi.com/maldives_cruise/cruise/maldivian.html

いっちゃんが語る バア環礁トリップの魅力

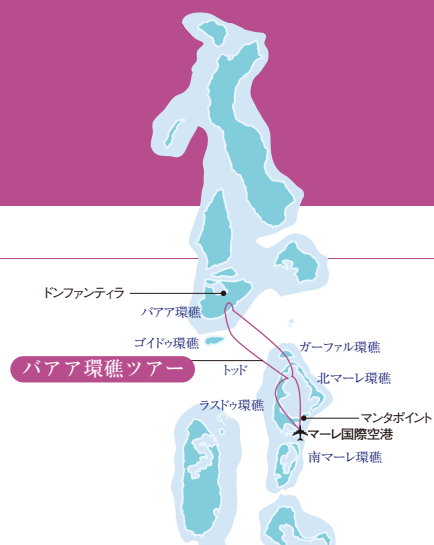


01



02

01/コンデジで撮影されマンタの群れ 02/ニシキフライウオもレギュラーメンバー



フリンデエビのペアもまだ見られるかも？

シーズンは雨季限定で8～11月までに開催されるトリップです。ずばり！マンタの大群を狙いの目的。とにかくマンタの枚数勝負。通常ルートの南北、アリ環礁では、クリーニングポイントでマンタを狙うことが多いのですが、バア環礁では捕食中のマンタをウォッチングします。この時期に大変プランクトンが集まるエリアがあります。そのために、透明度が少し落ちるのですが、なんと、ここに尋常ではない枚数のマンタが集まってくるのです！その数はなんと100枚超。ダイビングはもちろん、スノーケリングでもマンタを見ることができます。彼らは夢中で捕食しているので、すぐ接近することが可能です。ポイントは水深が浅く、水底が約15mの砂地です。水面下から水底まで本当にマンタだらけになります。ラッキーな場合だとこのエリアにジンベイザメも入ってきます。昨年は3度行って1度、2匹のジンベイザメも居合わせるという幸運に恵まれました。アリ環礁で見られるジンベイザメは体長5～6mが多いが、バ

ア環礁で見た固体は、2匹とも9mくらいの大きな個体でした。ジンベイザメは捕食に夢中で、水面に向かって垂直に立ちリーフにぶつかりながら大きな口を開けて捕食を続けていた。その間、ジンベイとマンタの捕食シーン競演が見られました！

マンタは他のポイントでも見られます。イルカのようにマンタが水面に浮かんでいるのを見つけるとエントリーする場合もあります。ポイントによっては、深い水深からマンタの玉が湧き上がってくる感じや、マンタの玉が、頭上を飛び交っていく感じで見られます。

そして、マクロの生き物も充実しています。トールフィンゴビー、ドラキュラゴビー、フリンデエビ、ニシキフライウオが見られるポイントがあります。またリーフにキバナゴなどが群れ、ロウニンアジやカスミアジの捕食シーンが見られることもあります。

ルートとしては、北マーレを北上して、バア環礁に行き

マンタを堪能した後、北マーレに戻る5日間のダイブスケジュールでバア環礁でのダイビングは3日間を予定しています。



上嶋一子
うえしま いちこ

いっちゃんは、大物運が強いガイド。特に潮が早いときに大物を引き当てるセンスがある。「単純に運やセンスがあるだけで、あまり考えてやらない」とスタッフからの評価あり。最近マクロも精通し始めた。

Maldives
モルディヴァン・スターズ
Web-lue 2009.Spring



Information Link http://www.divenavi.com/maldives_cruise/cruise/maldivian.html

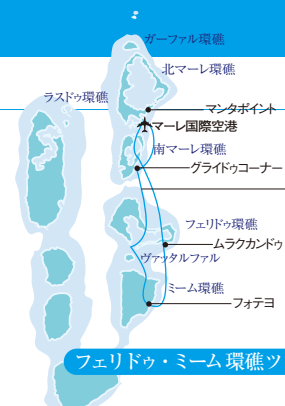
カオリータが語る 大物狙いツアーの魅力

大物狙いツアーは比較的、モルディブビギナーにお薦めのツアーです。通常ルートでは、大物からマクロまで、全ての生物をお見せするのですが、大物狙いツアーは、マンタ、ジンベイザメ、ナポレオン、カメ、サメなどのモルディブで見られる大物しか狙いません。マクロの生き物に興味がない方にもお薦めです。時期は、雨季の8月、11月で、雨季のなかでも比較的流れの穏やかなときに開催します。コースは、通常ルートと変わりませんが、ポイントの選択はより明確です。マンタは、北マーレのランカンベル。ナポレオンはアリ環礁のフィッシュヘッドに人懐っこい個体がいいます。ジンベイザメは南アリ環礁で狙う予定です。また雨季は、各環礁の東側のポイントで、キバナゴなどの稚魚が増え、スカンテンジクダイなどの小型魚が海中の根を覆います。そこにイソマグロやロウニンアジなどの回遊魚がハンティングにやってくる捕食シーンが見られたりもします。ビギナーはもちろん、潮の流れが比較的弱まるので、脚力に自信がない方や年配の方にもお薦めです。



海中を滑走するタイマイ

カオリータが語る 大物狙いツアー& フェリドゥ・ミーム環礁ツアーの魅力



フェリドゥ・ミーム環礁ツアー

フェリドゥ・ミーム環礁ツアーは、潮流のあるコーナーを中心にダイビングを楽しみたい方にお薦めのツアーです。

ルートは、南マーレ環礁を経由してフェリドゥ環礁へ、そして更にミーム環礁まで南下します。ダイビングはコーナーやチャンネルでのダイビングが多くなるために、イソマグロ、ロウニンアジ、サメなどが見られます。流れが早く、また透明度が安定する乾季が絶好のシーズンで、1～4月に定期的に行われます。

フェリドゥ環礁は、一番有名なフォットオがとにかくお薦めです。黄色のソフトコーラルが群棲するのオーバーハングは圧巻で地形的に十分楽しむことができます。また早朝ダイブではハンマーヘッドシャークを狙い、ギンガメアジの大きな群れと共にメジロザメやネプリブカが徘徊しています。小物の生物も充実し、ハダカハオコゼ、インディアンバタフライフィッシュなどが見られます。また、少し深場では、他のエリアではあまり見られないソースポットバスレットや、レスブレンデット・バスレットなどのとても美しいハナダイが見

られます。

フォットオは大物系、小物系に関わらず全てのダイバーが楽しむことができます。1回のダイブでは、決して潜り切れません。モルディブのダイブガイドでこのフォットオファンはきっと多いはずで

また、ゴールデンフォールもお気に入りのポイントです。切り立ったチャンネルの壁には、黄色のイボヤギが一面に群棲しています。日中でもボリブが満開で、本当に、ゴールデンフォールのような感じです。ミーム環礁もコーナーダイブがほとんどで、メジロザメ、ギンガメアジ、マダラトビエイなどがレギュラーメンバーになっています。こちらもサメなどの大物好きの方にお薦めの環礁です。

ダイブスケジュールは5日間の航海のうち、3～4日間をフェリドゥ・ミーム環礁で潜る予定です。強い潮の流れの中でのダイビングになることが予想されます。中級者以上ダイバーからエントリーされることをお薦めする。



カツオの群れが海中を埋め尽くす



カオリータ
前井 登

チーフガイドのカオリータは、潮流を読み瞬時にポイントの選択、変更を行う順応性の高いガイド。ジンベエザメ以外に好奇心が旺盛で、巷では「カオリータがジンベエザメに関わると、遭遇率が低くなる……」と言われている(笑)

Maldives
モルディブ・スターズ
Web-lue 2009.Spring

